

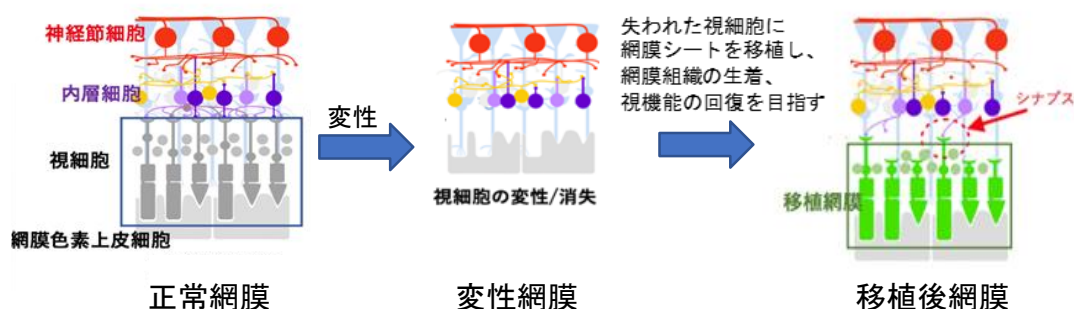
「網膜色素変性に対する同種(ヒト) iPS 細胞由来網膜シート移植に関する臨床研究」

の1例目の移植手術の実施について

1. 概要

神戸市立神戸アイセンター病院は、他人由来の iPS 細胞から作製した網膜シートを、網膜色素変性患者の網膜下に移植する世界初の臨床研究「網膜色素変性に対する同種 iPS 細胞由来網膜シート移植に関する臨床研究」を計画してきましたが、この度、本研究の1例目の移植手術を実施いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

<概要図>



2. 発表者

神戸市立神戸アイセンター病院

栗本 康夫 院長

平見 恭彦 副院長

万代 道子 医師 (国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター)

網膜再生医療研究開発プロジェクト副プロジェクトリーダー)

3. 手術について

実施日：令和2年10月上旬

実施場所：神戸市立神戸アイセンター病院

被験者：関西在住 60歳代 女性

方法：他人由来の iPS 細胞から作製した網膜シートを網膜色素変性患者の網膜下に移植

(研究協力機関)

国立研究開発法人理化学研究所 : 免疫反応試験の実施

神戸市立医療センター中央市民病院 : 救急時等の対応

大日本住友製薬株式会社 : 網膜シートの製造

(支援機関)

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

事業名：「再生医療実用化研究事業」

「再生医療実現拠点ネットワークプログラム 疾患・組織別実用化研究拠点(拠点 A)」

大日本住友製薬株式会社

4. これまでの経過

令和2年2月10日 大阪大学第一特定認定再生医療等委員会にて承認

6月11日 厚生労働省 再生医療等評価部会にて了承